

# 令和6年度 事業報告

## [法人・北海道博愛舎・ニュー北海道博愛舎・グループホーム紅愛の運営]

- 令和6年度は、北海道博愛舎・ニュー北海道博愛舎ともの利用者の定員割れが続き、給付費が減収となっている。早急な利用者確保のため各関係機関と連携しながら利用者の情報収集や勧誘を強力に勧めていく。
- 感染症については、施設内で集団感染等の発生はなく落ち着きましたが、利用者が帰省するお盆・正月明けにインフルエンザやコロナが発生する傾向にありました。なお、感染した方はいるものの重症化する利用者はなく、今後も、利用者の健康管理に留意し、施設内独自の感染予防対策の徹底を継続する。
- 地域温暖化に伴う猛暑対策として、環境整備に配慮した「雪」に着目し、数年前から進めてきた施設内の雪冷房については、北海道の補助事業も利用して「設計」・「導入」と進めてきた工事が令和7年3月末に終了し、施設内の雪冷房システムが完成した。  
なお、雪氷冷熱エネルギーを利用した雪冷房の本格稼働は、令和7年夏となる予定です。
- コロナウイルス感染がまん延し、ここ数年、虐待等に対する研修もズーム等の研修内容が多かったため、今年度は外部講師を招き「障がい者の虐待・権利擁護」について研修を実施した。

## [就労支援事業・利用者工賃実績]

就労継続支援B型事業は、全体的物的価・資材等の高騰は続いているが、新規事業所の開拓や洗濯費用の単価アップなどの対応により増収となった。

また、年間平均月額工賃45,000円以上となった。

## [施設の改修]

- 防犯及び火災等の緊急事態対応として、施設正面玄関をテンキー錠へ変更した。
- サーバー及び支援費システムソフトの更新を行った。
- クリーニング工場南側外壁の腐食が激しく、雨水や雪の侵入等や機械機器等に漏電等の被害が想定されること、
- 作業環境改善のため、外壁サイディング張替工事を行った。
- 施設老朽化に伴い、地下ピットの配管、漏水工事、建物修繕等の工事を行った。

## [北海道博愛舎・ニュー北海道博愛舎 利用者の状況と対応]

- 北海道博愛舎は、利用者の増減はないが定員割れは続いている。  
市町村や相談支援事業等の連携を取りながら、利用希望者の情報収集や勧誘に努めている。
- ニュー北海道博愛舎は、3月末で10名の定員割れである。北海道博愛舎からの施設替えするなど対策を講じたが、入院する利用者も増加傾向にあり、収益には繋がらない状況であった。
- グループホーム紅愛は、増減なし。
- 給付費全体としては、前年度と比較して約313万円の減額となった。

## [行事实施状況]

年月	行事内容
R6 6月	日赤献血
	利用者旅行（小樽市）
7月	夕張市農協青年部メロン贈呈
8月	焼き肉パーティー 定期健康診断 ふれあい祭り（雨天中止）
9月	全道障がい者スポーツ大会（帯広市）
10月	日赤献血
12月	コロナワクチン接種 希望者 利用者忘年会 歳末助け合い募金・赤い羽根募金
R7 1月	利用者新年会
2月	定期健康診断 森農園「長芋」贈呈 避難訓練
3月	避難訓練（2回目）
その他	毎月第3水曜日 利用者誕生会 毎月 利用者理容日 毎月 訪問販売

## [職員研修実施状況]

年月	研修内容	参加数
R6 4月	主任職員研修	2名
5月	空知圏域就労支援事業所連絡会議 不当要求防止責任者講習 安全運転管理者講習	1名 1名 1名
6月	障がい者差別解消法に係る説明会	1名
7月	危険物取扱者保安講習 空知障がい者就労支援会議	1名 1名
8月	経理担当者のための実務研修	1名
9月	北海道身体障害授産施設連絡協議会 施設長及び職員研修会 集団指導及び感染症研修会	5名 6名 6名
11月	身体障害者福祉施設職員研修会 ニーズに応じた就労支援に関する視察研修 年末調整実務研修会 福祉医療機構新システム操作説明会 福祉施設における権利擁護と虐待研修（外部講師）	5名 2名 3名 1名 27名
12月	社会福祉法人・施設災害時連絡会議 クリーニング師研修第2型通信制	1名 1名
R7 2月	北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修 福祉施設における権利擁護と虐待研修（2回目）	1名 11名